

# 令和三年度 奈良県知事賞

## お買い物は県内で

生駒市立上中学校 三年 北里 亮磨

以前、市役所に勤めている叔父が「奈良県は地方消費税の収入が全国ワースト一位なんだよ。だから買い物をするなら奈良県内でしてね。」と言っていました。その時は、消費税というと、買い物をする時十パーセントの消費税をきちんとお店に払っているし、それと奈良県で買い物をすることがなんの関係があるかよくわかりませんでした。そこで、地方消費税とは何か調べてみることにしました。

まず、消費税は所得税、法人税と共に国の税収トップ3で、年金や介護・医療などの社会保障費、町や道路の整備費などの公共事業費などに使われます。最近では新型コロナウイルス感染症対策費や大規模な自然災害による復旧費用にも多くの税金が投入されています。消費税は商品を買ったり、飲食店で食事をした時にかかる税金で、値段の十パーセントをお店に支払います。そのうち、二・二パーセントは地方消費税として、都道府県の税収となり、さらにその内の二分の一は各都道府県に交付されます。つまり、消費税二・二パーセントはそれを納めた各都道府県の人たちのためだけに使われるのです。これが叔父さんの言っていた地方消費税の正体でした。奈良県内でたくさん買い物をして、奈良県内のお店で消費税を払えば奈良県に入る地方消費税が増えるということです。奈良県は、この地方消費税収が全国ワースト一位とういのはどういうことなのだろうか。平成二十六年の調べでは、奈良県は、一世帯あたりの消費支出は全国十一位で、決して買い物をあまりしていないわけではないのですが、県外での購入割合は全国一位だそうです。奈良県は、経済力の高い大阪府や京都府に隣接しますが、そんなに他府県で買い物をする人が多いとは知りませんでした。奈良県にも、魅力的な大型ショッピングモールを作ったりたくさんの人々が買い物をしたいと思うような方法を考える必要があると思いました。

他にも奈良には、世界遺産や歴史・文化遺産がたくさんあるので、それらをPRして多くの人に観光に来てもらい、お土産を買ったり、食事をしてもらうことも税収を上げることにつながります。このように、地域の経済の成長が、結果的に自治体の税収アップにつながり、地域の人々の安全なくらしや、医療や福祉の充実につながるということを初めて知りました。

これからは、私も買い物はできるだけ県内でするようにしたいと思います。それで地方消費税収が増えたら、今新型コロナウイルスの感染者が増加し、医療がひっ迫している状況なので、医療施設を増やしたり、少しでも医療従事者の負担を軽減できるようになればいいと思います。また、社会の一員として、国や地域を支える税金がどのように使われているのか関心を持っていきたいです。